

議案番号	議案名	概要	賛成しなかった議員
議案第21号	津市国民健康保険条例の一部の改正について	国民健康保険法施行令の改正に伴い、同令に規定する保険料の賦課に関する基準に合わせた基礎賦課限度額の改定などを行うほか、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づく情報連携に伴い、事務手続が変更となったことによる所要の改正	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》今回は、基礎賦課限度額ではあるが、負担増につながることから反対する。		
議案第22号	津市介護保険条例の一部の改正について	平成30年度から平成32年度までの第7期介護保険事業計画期間における保険料率(年間保険料)の設定を行うほか、保険料の所得段階の判定に用いる合計所得金額の算定方法等に係る所要の改正	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》2018年度から2020年度までの3年間を計画期間とする保険料が提案され、今回も保険料がアップする。高すぎる介護保険料は、高齢者の暮らしを圧迫しており、市民アンケートでも「保険料や利用料の負担を減らしてほしい」という声が最も多くあった。保険料の段階を増やし、低所得者の負担軽減を図るべきであると考えるところから反対する。		
議案第35号	工事請負契約について	(仮称)一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》議案第16号と同じ理由で反対する。		
議案第53号	平成30年度津市一般会計予算	子育て支援施策や幼児保育環境の充実、教育関係事業に関する経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係事業に関する経費、防災機能強化や消防関係事業、防災事業などの安全なまちづくりの推進に関する経費、環境関係事業や生活基盤の整備事業に関する経費、生涯学習の推進やスポーツ・文化の振興や市民活動の推進に関する経費、農林水産業や商工業および観光の振興事業に関する経費等 <b>1102億6473万3000円</b>	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子 岡村武(拒否) 吉田博康(錯誤)
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》市長の施政方針では、暮らし応援予算が強調されている。しかし、「くらし・福祉・子育て支援に関わる予算」の割合が低く、生活保護費支給事業の大幅削減、健康診断の予算減など、暮らしに寄り添う予算になっていない。また、「自治体ポイント活用事業負担金」は、総務省のマイナンバーカード普及拡大キャンペーンとも取れる政策であること、住宅リフォーム助成制度の創設について、ここ数年、繰り返し提案してきたが、何ら前向きな検討がされないこと、人権施策という名の下での同和行政を見直すべきだと申し上げているが、何ら取り組む姿勢が見られないこと、また、各総合支所が自由に使える地域インフラ整備のための予算の増額がされおらず、思い切った増額予算を組み、積み残しの要望に応える機会を持つべきと考えることから反対する。		
議案第54号	平成30年度津市国民健康保険事業特別会計予算	賦課徴収事務等の経費、保険給付費、国民健康保険事業費納付金等 <b>273億2778万9000円</b> (事業勘定)、一般事務費、薬品費等 <b>5555万7000円</b> (直営診療施設勘定)	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》一昨年、保険料が21%も値上げされ、市役所への納付相談も1万件を超えた。国民健康保険の加入者は、年金生活者や自営業者、非正規雇用者など比較的所得が低い方が多く、保険料の滞納で、病院にかかれぬ人も増えている。その結果、会計を一層悪くし、悪循環に陥ることになる。高すぎる保険料は引き下げるべきであり、払える保険料になっていないとの理由で反対する。		
議案第55号	平成30年度津市介護保険事業特別会計予算	賦課徴収事務費、介護認定経費、居宅介護サービスなどの保険給付費、地域包括支援センター運営委託料等の地域支援事業経費等 <b>273億8233万8000円</b>	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》議案第22号と同様に、保険料が高いとの理由で反対する。さらに、介護保険料・利用料の軽減措置を早急に講じるべきと考えるが、その課題への対応と、市民が求める、安全・安心で行き届いた介護を目指し、地域包括ケアシステムを構築する上で、重要な役割を担う地域包括支援センターの増設を求めておく。		